

六

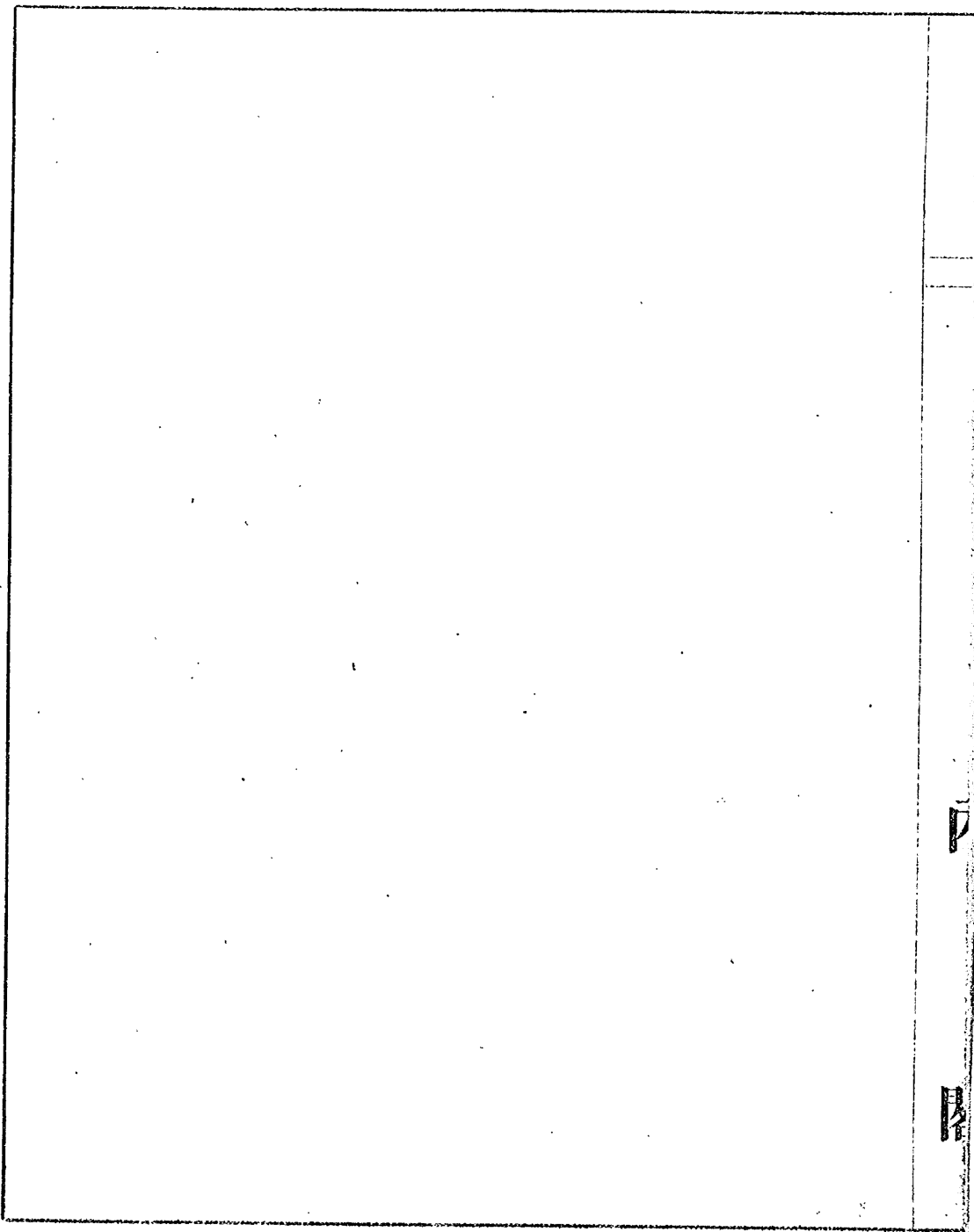
二月一日九日

對佛印、泰施策要綱

昭和十六年一月三十日
大本營政府連絡會議決定



0961



内

陸

0962

第一目的

大東亞共榮圈建設ノ途上ニ於テ帝國ノ當面スル佛印、泰ニ對スル施策ノ目的ハ帝國ノ自存自衛ノ爲佛印及泰ニ對シ軍事、政治、經濟ニ互リ緊密不離ノ結合ヲ設定スルニ在リ

第二方針

一、帝國ハ速ニ佛印及泰ニ對スル施策ヲ強化シ目的ノ貫徹ヲ期ス
之カ爲所要ノ威壓ヲ加ヘ巴ムヲ得サレハ佛印ニ對シ武力ヲ行使ス

二、本施策ハ英、米ノ策謀ヲ排シ敏速ニ之ヲ強行シテ成ルヘク速ニ目的ヲ概成ス

0963

第三 要 領

一、帝國ハ失地問題處理ヲ目標トスル佛印、泰間紛争ノ居中調停
ヲ強行シ之ヲ楔機トシテ帝國ノ佛印、泰兩地域ニ於ケル指導
的地位ヲ確立スル如ク施策ス

二、泰ニ對シテハ成ルヘク速ニ日、泰協定ヲ締結シ佛國ニ對シテ
ハ經濟交渉ノ速決ヲ圖ルト共ニ機ヲ見テ日、佛印間結合關係
ヲ増進スヘキ一般的協力並佛印、泰間紛争防止ノ保障及日、
佛印間通商交通擁護ヲ目的トスル軍事的協力ニ關スル協定ヲ
締結ス

右協定ニ於テ充足セラルヘキ帝國ノ政治的及軍事的的要求左ノ
如シ

イ、佛國ヲシテ佛印ニ關シ第三國ト一切ノ形ニ於ケル政治的
軍事的協力ヲナササルコトヲ約セシム

ロ、佛印特定地域ニ於ケル航空基地及港灣施設ノ設定又ハ使
用竝之カ維持ノ爲所要機關ノ設置

ハ、帝國軍隊ノ居住、行動ニ關スル特別ナル便宜供與

三、政戰兩略ノ妙用ヲ期スル爲速ニ所要ノ作戰準備ヲ整フルト共

ニ武力行使ノ時機ハ豫メ機ヲ失セス之ヲ定ム

四、交渉ノ經過ニ應シ適時威壓ヲ増大シ目的ノ達成ニ勉ム

右威壓行動ニ對シ佛印カ武力ヲ以テ抵抗セハ當該部隊ハ武力
ヲ行使スルモ之ヲ強行ス

五、佛國カ紛争解決ニ應セサル場合ニハ佛印ニ對シ武力行使ヲ豫

定シ其發動ハ別ニ決定セラル、モノトス

協定締結ヲ拒否スル場合ニ於ケル武力行使ハ豫メ之カ準備ヲ

爲スモ其發動ハ當時ノ情勢ニ依リ決定ス

右武力行使ハ佛國ヲシテ我要求ニ聽從セシムルヲ以テ限度ト

シ武力行使後ニ於テモ極力佛印ノ治安維持、政治經濟等ハ佛

印當局ヲシテ當ラシムルニ勉ム

六 泰ニシテ我要求ヲ拒否スル場合ニ於テハ日、泰協定ノ内容ヲ

變更シ又ハ威壓ヲ加フル等極力我要求ヲ容認セシムルニ勉メ

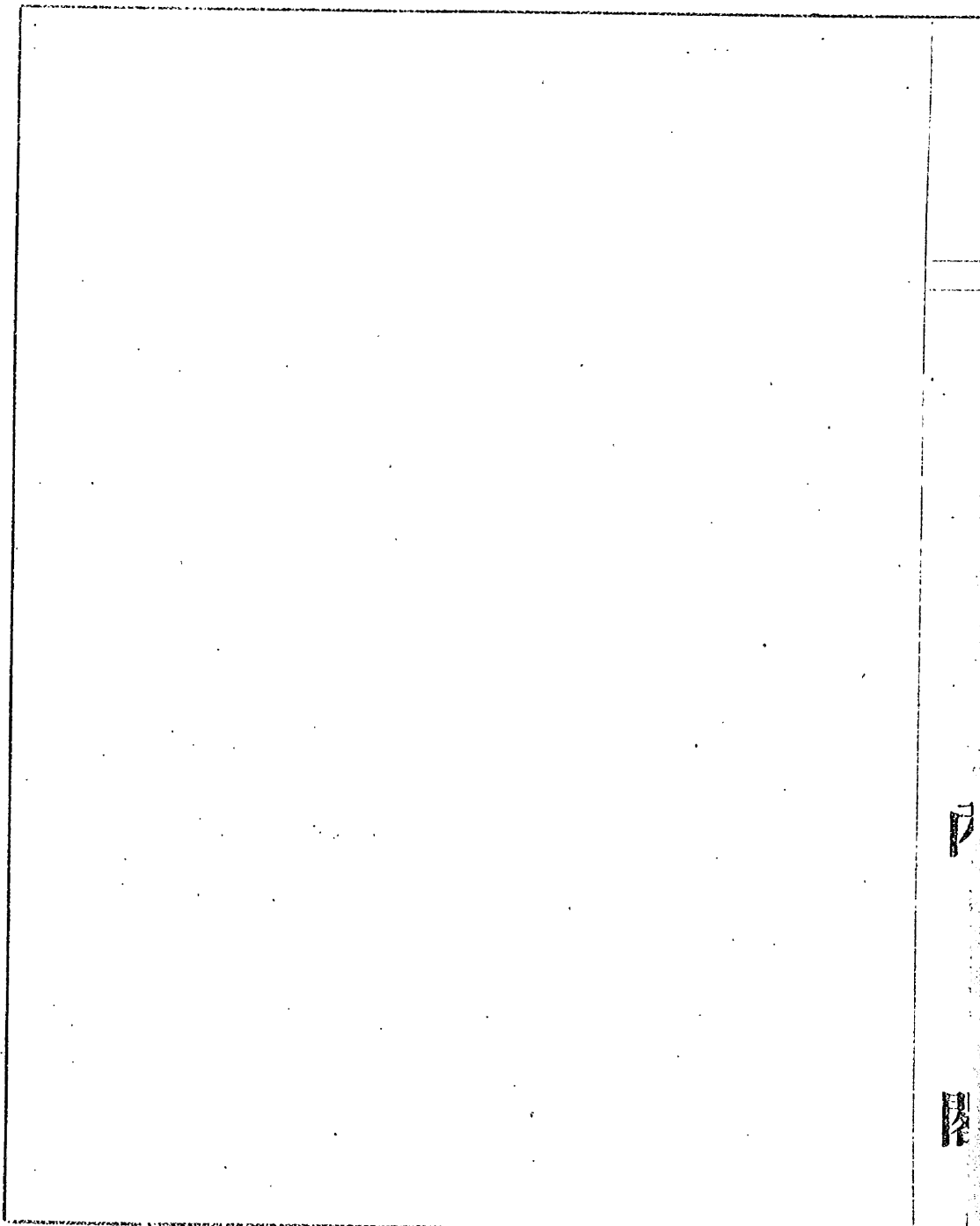
如何ナル場合ニ於テモ泰ヲシテ英、米側ニ赴カシメサル如ク

施策ス

七 本施策ニ應スル如ク帝國ノ輿論ヲ統一スルト共ニ徒ニ英、米

0966

ヲ對象トスル南方問題ヲ激化セシメ無用ノ摩擦ヲ生セサルニ
留意ス



ア

歴

0968